

令和7年度第1回我孫子市健康福祉総合計画推進協議会 会議概要

(1) 会議の名称	令和7年度第1回我孫子市健康福祉総合計画推進協議会					
(2) 開催日時	令和8年2月16日(月) 10時から11時半まで					
(3) 開催場所	分館大会議室					
(4) 出席又は欠席した委員その他会議に出席した者の氏名 (傍聴人を除く) 出：出席 欠：欠席	委 員 (市職員以外)					
	欠	菅森毅士委員	欠	小川英郎委員	出	鈴木壽幸委員
	欠	寺岡加代委員	欠	志賀幸夫委員	出	内田裕美委員
	出	布施健委員	出	安本正道委員	出	佐久間美穂委員
	出	荒井えり子委員				
	事務局					
健康福祉部長 (飯田部長) 社会福祉課 (小池課長、落合主幹、山口、高橋) 高齢者支援課 (茅野課長補佐) 障害者支援課 (森永) 健康づくり支援課 (村田課長補佐) 国保年金課 (山梨) 子ども支援課 (高橋主幹)						
(5) 議題	1. 第7次健康福祉総合計画について 2. 第6次健康福祉総合計画進捗状況について					
(6) 公開・非公開の別	公開					
(7) 傍聴人の数 (会議を公開した場合)	傍聴人の数 1人					

議題 1

第7次健康福祉総合計画について

(事務局説明概要)

第7次健康福祉総合計画概要版に沿って、第7次計画の概要を説明した。第6次計画からの変更点としては、基本目標に「みんなが支え合い共に生きるまちづくりの推進」を加え、また第6次計画から包含していた「地域福祉計画」、「成年後見制度利用促進基本計画」に加え「生活困窮者自立支援計画」、「地方再犯防止推進計画」を新たに包含している。今年度より新たに開始した取組である「あんしん生活支援事業」、「就労準備支援事業」、「家計改善支援事業」について計画書に沿って事業内容を説明した。

(質疑等概要)

鈴木会長	今、説明のあった「あんしん生活支援事業」については我孫子市社会福祉協議会で行っています。身寄りのない高齢者の方などに対して現在3名の方と契約に向けて話し合いを重ねており、そのうち2名の方と契約を締結したところです。契約にあたっては、死後事務や公正証書遺言、病気で意思疎通が図れなくなった際の対応、さらに法定相続人がいる場合は相続に関する部分など丁寧に話し合いを進めていくため、契約に至るまで半年以上かかることもあります。そういった話し合いを進める中でご本人の気持ちが揺らぐこともあるので、時間をかけて話し合っていくことを第一に事業を行っています。
布施委員	第7次計画の概要版で、基本目標1の「市民のみなさんに心がけてほしいこと」で「まずは近所の方々と積極的に挨拶をしましょう」という記載について、私の住んでいる地域で子どもたちに飴玉を配っている年配の方がいます。その方は子どもの見守りということで、善意でやっているのですが、不審者とみなされ小学校の不審者メールで注意喚起されてしまいました。また、基本目標2にヤングケアラーの記載がありますが、先日行われた子ども・子育て会議においても、実際に家族の世話をしているような子どもは自身をヤングケアラーだと思っていない傾向があるという話がありました。いずれも受け手側次第で計画に記載されている現状や課題というものも変わってくるのかと思いますが、第7次計画としてこのまま進めていくと考えてよろしいでしょうか。
事務局	ご質問のとおり、コロナ禍で地域のつながりが希薄化している中、地域での見守りと、犯罪への危機意識を両立させるのは難しい課題だと考えています。ただ、健康福祉総合計画は地域共生という理念に基づいて推進しているため、地域で暮らす人の交流を促すという方向性で進めていくという認識です。概要版ではその理念を「挨拶をしましょう」として記載していますがこちらは今後表現を検討していきたいと思っています。
安本委員	今回の計画から新たに地方再犯防止推進計画が包含されているということで、たとえば薬物依存で刑を受けていた方が社会復帰して職に就きたいという場合、まずは専門の病院で薬物依存に対する治療をしっかり行ったほうが良いと考えています。
障害者支援課	薬物依存については、おっしゃるとおり病院を紹介することが依存に対して効果的と思われるので市でも対応を検討していきたいと思っています。
事務局	実際の対応としては、千葉県内で依存症を専門に扱っている医療機関を紹介しながらそこでの治療を経て立ち直りを促していきます。そういったケースでは入院も長期間に渡り経済的な部分で社会生活を送っていくことが厳しいこともあるので社会福祉課の生活相談や就労準備支援事業を通して経済的にも自立できるようフォローをしていきたいと考えています。

議題 2

第 6 次健康福祉総合計画進捗状況について

(事務局説明概要)

第 6 次健康福祉総合計画の最終年度となる令和 6 年度の実績報告を行った。令和 6 年度の実績で令和 5 年度より数字の下がった項目については、基本目標 1 の「市民一人ひとりがつながる地域づくりの推進」において、地域の高齢化を理由に数字が下がったものがあった。また同じく基本目標 1 の「あらゆる人を受けとめられる地域づくり」では福祉相談事業、DV 相談事業ともに想定値を下回ることとなった。これは求人の増加や最低賃金の引上げ、SNS での相談が広がったことが理由と考えられる。各個別計画の進捗については所管課より報告を行った。

(質疑等概要)

<p>布施委員</p>	<p>心も身体も健康プランについて、前年度から実績が高くなった項目として「日頃から意識的に体を動かすように心がけている割合」と「運動習慣者（週 2 回以上、1 日 30 分以上の運動）の割合の増加」がありますが、これらの年齢区分はどのようになっていますか。</p> <p>また、「おいしく楽しく食事をしている割合」が増加している一方、達成できなかった項目として「肥満傾向にある子どもの割合の減少」が挙げられています。運動習慣者の割合が増加しているにも関わらず肥満傾向の子どもが増えているという現状から、子どもに関しては運動の機会が減っているのかなと思います。質問しました。</p> <p>おいしく食べることはとてもいいことだと思いますが、先ほどお話のあった地域でのつながりの希薄化にもあるように、公園に出かけたりする子どもが減っているとなるとこういったことも今後の課題かと感じます。</p>
<p>健康づくり支援課</p>	<p>「日頃から意識的に体を動かすように心がけている割合」と「運動習慣者（週 2 回以上、1 日 30 分以上の運動）の割合の増加」の年齢区分につきましては、確認して後日回答します。</p> <p>「おいしく楽しく食事をしている割合」が増加している一方、「肥満傾向にある子どもの割合の減少」が達成できなかったことにつきましては、コロナ禍の数年間で運動の機会が制限されていたことや、学校が休校になって家庭で食事をする機会が増えたことが影響していると考えています。また、ゲームやスマホを使用している時間が増えているというアンケート結果もありますので、今後の啓発に活かしていきたいと思います。</p> <p>(追加回答)</p> <p>「日頃から意識的に身体を動かすように心がけている割合の増加」と「運動習慣者（週 2 回以上、1 日 30 分以上の運動）の割合の増加」については、</p>

	<p>成人の運動習慣に関する指標として算出しています。</p> <p>ご意見を頂戴した子どもの肥満と運動習慣との関連性については、本協議会資料に記載している「肥満傾向にある子どもの割合」と、協議会資料未記載の子どもの運動習慣に関連する指標から分析が可能です。ただし、「肥満傾向にある子どもの割合(小学5年生・女子)」は毎年集計したデータを基に算出し、子どもの運動習慣については計画策定時や中間評価時の小学1年生および4年生を対象として令和5年度に実施した市民アンケートの回答から算出しています。そのため、厳密に令和6年度の肥満傾向のデータと同対象・同時期の運動習慣の指標の実績値とはなりません。令和5年度の市民アンケート結果によると、「週に3日以上運動やスポーツをしている小学生の割合」は、令和元年度66.3%から令和5年度64.6%にやや低下、「月曜から金曜の間に1日2時間以上テレビやゲームやDVDを見たり聞いたりする小学生の割合」は令和元年度32.7%から令和5年度47.0%に増加しており、これらの状況が「肥満傾向にある子供の割合の減少」を妨げている要因と考えられています。</p> <p>「おいしく・楽しく食事をしている割合の増加(小・中学生)」については、成人では経年での変化は見られませんでした。小学生では90%以上、中学生では85%以上で推移しており、目標値を常に上回っています。</p>
佐久間委員	<p>障害者プランについて、就労される方が増えたというご報告があったかと思いますがどういった障害の方が就労されているかなど詳しい内容はありますか。</p>
事務局	<p>就労の支援についてですが、報告に記載されている合同企業説明会につきましては、市内福祉施設の障害者や高齢者施設などに就職する一般の方を推進するために実施したものです。</p> <p>障害者の就労としては「チャレンジドオフィスあびこ」という我孫子市役所内の施設において、会計年度任用職員として障害者の方を雇用しています。実際雇用しているのは精神障害の方、軽度の知的障害の方がメインとなっています。「チャレンジドオフィスあびこ」では我孫子市役所のすべての課から封筒詰めやスタンプ押しなどの軽作業を引き受けています。</p>
佐久間委員	<p>ありがとうございました。障害の特性にあった仕事を配慮していることが今の説明でわかりました。すでに把握されているかもしれませんが障害の種別ごとに就労のデータをとってもいいのではないかと思います。</p>
内田委員	<p>第6次計画の基本目標1の取組である「地域コミュニティ活性化の推進」の課題にも記載されていますが、最近我孫子市でも外国人の転入が増えていると聞いています。増加している外国人世帯への対応についても計画に追加するなど今後対応を考えていかないといけないと感じています。</p>
佐久間委員	<p>我孫子市だからできるというような取組があると思っています。たとえば NECさんと我孫子市とで連携した取組も考えられるし、今お話のあったように外国人の増加については高齢者施設などにおいて外国人の活用なども実</p>

	<p>績が出てくると思います。今後の会議においてそういった報告をいただけたらと思います。</p>
荒井委員	<p>保護司会には犯罪をした人を受け入れてくれる企業からなる協力雇用主会があります。我孫子市、柏市、流山市で実施していますが我孫子市での登録が一番多くなっています。犯罪をした人だけでなく薬物依存や障害のある方も一緒に受け入れられるような仕組みを作っていけたらいいと思います。</p>
安本委員	<p>先ほどの薬物依存の話につながるのですが、高齢の母を息子が世話をしているとお互いに依存しあってしまうということがあります。息子としては昼間に仕事に出たいものの、自分が外出するとすぐに母親から連絡が来てしまい思うように働けず、薬物に手を出してしまうというケースです。また、お墓を継承する人もおらず墓じまいをする方も増えてきたり、成年後見の話など、福祉に関するいろいろな相談を受けています。そういったときは市役所の福祉の窓口を紹介しています。</p>
布施委員	<p>先ほどの外国人の転入者が増えているという話は子どもの現場においても、外国籍の子を受け入れたところ言葉が通じないなど課題となっています。また、障害を持っている子の受け入れも保育士の人材不足により難しい場合があります。子どもに関する福祉も充実していただけると今後子どもがすくすくと育っていきけるのではないかと思います。</p>
事務局	<p>外国人の増加について、今回の計画書でも市の現状として我孫子市の人口の現状と推計を記載していますが、外国人の転入により我孫子市の人口が近年増加している現状となっています。外国人の増加に関しては計画策定の頃から意識をしていましたが、具体的な取組については第7次計画には反映できていないため、今後どのように計画に盛り込んでいくかなどみなさまのご意見を反映しながら検討していきたいと思います。</p>